

市川市議会は毎年4回、2月、6月、9月、12月に定例会を開きます。  
市議会だよりは5月、8月、11月、翌年2月の第2土曜日に各定例会号を発行(新聞折り込み)し、審議内容をお知らせしています。

# いちかわ

# 市議会だより

2013年(平成25年)第204号

1月1日(祝)

発行 市川市議会  
編集 議会運営委員会  
市川市八幡1-1-1 ☎334-1111  
<http://www.city.ichikawa.lg.jp/cou01/1541000002.html>

次の世代に誇れる  
活力と希望あふれるまちへ

# 迎春

(行徳の海から昇る朝日)

## 「我が郷土市川」住み続けたいまちへ全身全霊で努力

議長 加藤 武 央 浩  
副議長 松 葉 雅 浩

新年明けましておめでとうございます。  
市民の皆様には、健やかで希望に満ちた初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。旧年中は、市議会に対し深いご理解と温かいご支援ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。  
昨年を振り返りますと、スポーツの祭典でありますロンドンオリンピックが開催され、市川市で生まれ育ち、現在も市内に住む三宅諒選手が、フェンシング男子フルーレ団体で銀メダルを獲得するなど、とかく暗い話題の多い世相の中で、大変明るい話題をもたらしてくれました。

また、本市におきましては、浦安市川市民病院の後継となる東京ベイ・浦安市川医療センターが2月に開院し、日常の診療はもちろんのこと、災害時の医療拠点としても大いに期待しているところでございます。

一方、欧州債務危機や中国の景気減速懸念など、世界経済は現在、混沌とした状況にあります。また、国内においても、製造業の競争力低下や少子化による市場規模縮小などの問題が叫ばれており、国はもとより本市の財政状況も極めて厳しく、政策的経費は限られた状況にあります。しかしながら、ここで立ち止まっている訳にはいきません。防災・放射能対策、道路交通整備、子育て支援、高齢化対策、教育改革など、皆様の日常生活に直接係わる身近な課題が山積しており、我々はこれらの課題に一つ一つ取り組み、市民生活向上のため、着実に前進していかなければなりません。

こうした中、市川市議会では、昨年、議会改革検討協議会を立ち上げ、「市民にわかりやすい、より開かれた議会」「効果的・効率的な議会運営」を目指し、鋭意議論を重ねているところでございます。

本年はこれらを形にし、市民の皆様が「我が郷土市川」として、このまちに住み続けたいと感じられるような、魅力的なまちづくりを推進するため、これまで以上に耳を研ぎ澄ませ、市民の皆様の声を市政に反映させるべく、全身全霊で努力して参る所存でございます。引き続き、皆様方の変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

本年が皆様にとって幸多き年になりますよう心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

